

●資金需給

単位：億円	2019年1月23日		2019年1月24日		2019年1月25日	
	需給速報		需給予想		当社予想	
銀行券	400		▲ 100		▲ 1,000	
財政	▲ 7,500		▲ 2,000		▲ 1,000	
資金過不足	▲ 7,100		▲ 2,100		▲ 2,000	
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入	5,000					
国債買入						
CP等買入		▲ 200		▲ 100		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援						
社債等買入						
E T F 買入			300			
国債補完供給	▲ 100			100		
当預増減	▲ 2,400		▲ 1,800		▲ 2,000	
当座預金残高	3,865,100		3,863,300		3,861,300	
準備預金残高	3,362,500					
積み終了先	3,359,700		1月24日以降の残り所要積立額		積数 13,000	
超過準備	3,359,700		1日平均		600	
非準備預金先	502,600					
積み期間 (1/16~2/15) の所要準備額					3,140,800	
準備預金進捗率	実績 99.59%		日数		25.81%	

●2019年1月23日の市場動向

<インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、邦銀を中心に▲0.086~▲0.03%での調達で始まった。引き続き調達ニーズは弱く、一巡後は▲0.08%近辺の出合いが数件見られる程度で本日の取引を終えた。ターム物に関しては目立った出合いは見られなかった。昨日から本日にかけて開催された日銀金融政策決定会合では、金融政策の現状維持が決定された。

<レポ市場>

GC T+0(1/23-1/24)は▲0.120~▲0.110%程度での出合い、T/N(1/24-1/25)は▲0.150~▲0.105%程度での出合い。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では10Y335~353や、5Y130~138、20Y164~166、30Y57~61、40Y11などカレント近辺の銘柄にビッドが目立った。

<短国市場>

現先レート(T/N)は、低水準で推移した。アウトライト市場は、前場に3M物で▲0.196~▲0.195%のまとまった出合いが見られた。後場は、3M物が▲0.195~▲0.190%、1Y物が▲0.195%で出合った。

<CP市場>

現先レートS/Nは横ばい圏での推移。CP発行市場は、1,300億円程度の償還に対して、2,300億円強の発行となり、鉄鋼業態等から大型発行が実施された。発行レートに目立った変動は見られなかった。

●短期金融市場関連指標

2019/1/23	無担(速報)			有担(速報)			短国 売買参考統計値	東京 レポレート 平均値	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	単位：%	最低	最高	平均	最低	最高			平均	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)
O/N	▲ 0.086	0.001	▲ 0.067				-	▲ 0.119	0.000	0.005	20,593.72	▲ 29.19	109.35-36	109.61-63
T/N	▲ 0.020	0.000	▲ 0.016				-	▲ 0.142						
S/N							-	-						
1W	▲ 0.045	▲ 0.015	▲ 0.028				-	▲ 0.142						
2W	▲ 0.020	▲ 0.012	▲ 0.020				-	▲ 0.146						
3W			▲ 0.020				-	▲ 0.146						
1M							-	▲ 0.150						
3M							▲ 0.195	▲ 0.158						
6M							▲ 0.200	▲ 0.160						
1Y							▲ 0.195	▲ 0.160						
									日付	1/16	1/17	1/18	1/21	1/22
									日銀当預残	3,877,800	3,864,600	3,869,600	3,853,400	3,867,500
									準備預金残	3,373,200	3,366,200	3,367,600	3,343,300	3,363,800
									マネタリーベース	5,000,500	4,985,900	4,989,400	4,971,700	4,985,000
									無担O/N加重平均	▲0.068%	▲0.062%	▲0.067%	▲0.067%	▲0.067%
									コール市場残高	88,274	100,001	93,293	92,355	93,197
									うち無担	74,887	86,309	80,128	78,351	79,473
									うちO/N	44,977	55,429	49,898	47,411	47,988
									うち有担	13,387	13,692	13,165	14,004	13,724

●入札結果

名称	回号	表面利率	発行予定額	発行日	償還日	応募額(億円)	募入額(億円)	募入最低額	募入最高利回り	案分率	募入平均価格	募入平均利回り	第1非価格競争入札(億円)
本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。													

●オペ結果

種類	オファー額(億円・百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付利率	応募総額(億円・百万ドル)	落札総額(億円・百万ドル)	按分レート・利回較差・価格較差	全取レート・利回較差・価格較差	平均落札レート・利回較差・価格較差	按分比率
国債補完供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)	5,151	2019/1/23	2019/1/24		97	97		▲0.600	▲0.600	
米ドル資金供給		2019/1/25	2019/1/31	2.9	2	2				

●2019年1月24日の予定

*11月の景気動向指数改訂状況	*ECB定例理事会(金融政策発表)	*20年利付国債入札(10,000億円、1/25発行)
-----------------	-------------------	-----------------------------

●日銀金融政策決定会合・結果

<p>●現行の金融市場調節方針を維持することを賛成多数で決定。</p> <p>(1)長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成7反対2)</p> <p>短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。</p> <p>長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買入れを行う。その際、金利は、経済・物価情勢等に応じて上下にある程度変動しうるものとし(金利が急速に上昇する場合には、迅速かつ適切に国債買入れを実施する)、買入れ額については、保有残高の増加額年間約80兆円をめどとしつつ、弾力的な買入れを実施する。</p> <p>(2)資産買入れ方針(全員一致)(長期国債以外の資産の買入れについて)</p> <p>①ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約6兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。その際、資産価格のプレミアムへの働きかけを適切に行う観点から、市場の状況に応じて、買入れ額は上下に変動しうるものとする。</p> <p>②CP等、社債等について、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する。</p> <p>●また、「貸出増加を支援するための資金供給」、「成長基盤強化を支援するための資金供給」、東日本大震災および熊本地震にかかる「被災地金融機関を支援するための資金供給オペレーション」等の措置について、受付期間を1年間延長することを決定(全員一致)。</p>
--

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はおお客様自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入